

平成23年度 学校経営方針

志木市立宗岡第四小学校

校長 平田 安弘

1 教育方針

教育の目的は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。(教育基本法 第1条)

21世紀の社会を主体的に生きるために、豊かな人間性と創造性、国際性を持ち、心身ともにたくましい児童の育成を目指す。教育は人材育成そのものであり、子どもたちが国際化時代を生きていく上で、「生きる力」をより一層培い、人間として成長させることが使命であるとする。

そのために、宗岡第四小学校の伝統と地域の実態をふまえて、学校・家庭・地域が連携し、計画的、組織的、継続的に教育活動を推進する。

2 学校教育目標

【学校教育目標】

- 考える子ども（知）
- 思いやりのある子ども（情）
- はたらく子ども（意）
- じょうぶな子ども（体）

【目指す児童像】

- ・本気で自ら学ぶ子
- ・礼儀正しく、心豊かな子
- ・仕事を一生懸命にする子
- ・元気でたくましい子

←変更

←変更

←変更

テーマ ～ 『心を育てる』学校経営 ～

3 経営方針（本年度の重点事項）

（1）目指す学校像

① 学ぶことが楽しい、生き生きとした学校

学ぶ喜びが実感でき、主体的に学習に取り組める子どもの育成に努める。

今、学校に求められているのは、豊かな心、健やかな体とともに「生きる力」の中核である「確かな学力」の更なる向上である。さらに、校内研修を通して、子どもたちの体力向上をめざし、自ら進んで学習に取り組み、生き生きとした心身ともにたくましい子どもの育成を図っていく。

「学ぶことが楽しい」とは、

- ・活動の場があること
- ・発表の場があること
- ・考えさせる場があること
- ・教え込む場があること
- ・成就感を味わわせる場があること
- など

② 保護者・地域から信頼される学校

学校と家庭、地域が互いに連携を図り、家庭や地域から信頼される学校づくりに努める。

子どもたちは、地域に生き、地域から学び、地域の中で育つという認識に立ち、地域に開かれた学校づくりを推進する。学校の信頼は、まず授業であり、基礎基本を大切にしたいわかる・できる喜びを味わわせる授業を展開することで信頼を得る。「教師は授業で勝負する」という気概をもって、日々の授業実践を行う。また、学校の教育活動を積極的に発信し、保護者・地域の協力と相互理解に努める。

③ 安心して安全な学校

美しく、潤いがあり、安全で安心な教育環境づくりに努める。

「環境は人をつくる」と言われているように、環境が教育活動に及ぼす影響はきわめて大きい。美しく潤いのある学習環境を整備するとともに、安心して安全な学校の実現と事故の防止に万全を期す。

(2) 目指す教師像

① 子どもと共に歩む教師（「師弟同行」の精神）

○深い愛情と熱意をもって ○一人ひとりの子どもを大切にす ○よさを引き出す

人権尊重の精神を基盤に一人ひとりの個性を生かし、個人の能力を十分に発揮させる教育活動の展開を目指す。子どもと語り合い、共に行動し、共に汗を流し、「やさしさ」と「厳しさ」を兼ね備えた教師を目指す。「子どもと共に学び、共に育つ」

② 研修に励み、専門性と人間性を高める教師

日々の授業で基礎基本を確実に定着させる授業、子どもの考えを大切に、ほめて・認めて・励まし、できる喜び・わかる喜びを味わわせる授業を実践するように、日々自己研鑽に努め、同僚から学び、お互いに切磋琢磨し、他校の優れた実践を積極的に取り入れていく。

「教育は人なり」「学ぶもののみが教えることができる」と言われる。自ら学び、自ら高めていく姿勢をもち、研究と修養に努め、教師としての力量と人間性を磨き、一層高めていく。

③ 児童・保護者・同僚から信頼される教師

教職員が組織として協力し合い、信頼し、創意ある学校づくりに努める。

学校経営の基盤は、教職員相互の信頼と協働、一人ひとりの自覚と責任にかかることが大きい。教育公務員として自らを律し、責任をもって職務を果たすことにより、教育活動の更なる充実を図り、信頼を得ることに努める。

4 本年度の努力事項

〈目指す学校像との関わり〉

- 「学ぶことが楽しい、生き生きとした学校」(1)(2)(3)(4)
- 「保護者・地域に信頼される学校」(1)(2)(3)(7)
- 「安心して安全な学校」(5)(6)(8)

(1) 学習指導の充実(本年度、新学習指導要領全面実施をふまえて)

- ・学級経営の充実…授業は学級経営が基盤
- ・日々の授業の充実→1単位時間の授業を大切に
板書を見れば、その時間の授業が分かる
- ・基礎基本の確実な定着…特に「読み・書き・計算」教育に関する3つの達成目標の推進
かけ算九九の習得、音読・暗唱、反復練習と習熟(漢字ドリル・計算ドリルの活用)
- ・問題解決学習の導入…学び方指導、導入の工夫
- ・指導方法や指導形態の工夫改善…TT・少人数指導・習熟度別指導、ノート指導
- ・学習規律の定着(はじめと終わりのあいさつ・呼名されたら必ず返事・発表の仕方の型・いすに
すわっているときの姿勢等)
- ・英語活動におけるTTの研究と実践(担任とALT)
- ・家庭学習の習慣化(計画的な宿題…「学年×10分」の家庭学習の継続)
- ・読書指導の充実(朝読書、読み聞かせの実施、読書月間 → 言語活動の更なる充実)

- ・言語活動の充実（各教科・領域の学習を通して）

（２）生徒指導の充実 ～心を育てる～

- ・基本的な生活習慣（規律ある態度）の徹底 → 家庭への啓発

「時を守り、礼をつくし、場を清める」

あいさつ・返事、話を聞く態度の徹底

「言葉遣いは心遣い」「くつをそろえることは心をそろえること」

忘れ物 〇 等

- ・積極的な生徒指導と不登校児童の解消（不登校児童 〇 を目指す）
- ・特別支援教育の充実（配慮を要する児童の支援会議…学期 1 回以上）

特別支援・配慮を要する児童への効果的な支援→特別支援教育・教育相談研修会の実施

- ・問題行動の早期発見・早期対応 → 報・連・相の徹底

（３）心の教育の充実 ～心を育てる～

- ・心に響く道徳教育の充実と実践的態度の育成

（年 1 回の公開授業、思いやりやいたわりの心の育成）

- ・福祉教育の充実→福祉の心・奉仕の心を育てる（総合的な学習の時間 等）
- ・教育相談の充実 → 迅速に・ていねいに・親身になって
- ・人権教育の積極的推進→人権感覚の高揚、「いじめ 〇 を目指す」
- ・特別活動等を通して異年齢集団活動の充実（縦割り活動、交流給食等）

（４）体力向上の充実（主に校内研修を通して）

- ・体育授業の更なる充実と指導法の工夫・改善

（運動量確保・学習過程の工夫・学習カードの活用・体育用具の工夫 等）

- ・年間通した業間運動の推進（鉄棒月間・マラソン月間・なわとび月間 等）
- ・運動遊びの日常化の推進（休み時間の外遊び・なわとび等の奨励）
- ・健康教育の推進（歯磨き指導、食育の推進、「早寝・早起き・朝ごはん」の推進）

（５）安全教育の充実

- ・安全な生活を送るための習慣化（けがの防止・「自分の命は自分で守る」）
- ・交通事故防止の徹底→交通安全教室の実施（自転車の乗り方）
- ・防犯意識の向上→不審者・変質者、不審電話への対応の継続的な指導

（６）教育環境の整備・充実

- ・教職員「一人一改善」の推進（学習環境、施設・設備関係、学習指導の改善 等）
- ・掲示教育の充実（校舎内外の掲示物等の工夫）
日付の古い掲示物ははがし、新しい物に張り替える・季節感を考えて
- ・校舎内外の美化活動の推進（「心を磨く清掃活動」…「だまって・しずかに・そうじ」
清掃活動の見届け、花いっぱい運動）
- ・学校農園等の有効活用（たんぼぼ農園・コスモス畑の整備）→本校の特色化事業

（７）家庭・地域との連携

- ・家庭とのきめ細かな連絡と情報交換（連絡帳・電話・必要に応じて随時家庭訪問）
- ・学校・学年・学級だよりの発行と積極的な情報発信
- ・学習支援ボランティアやゲストティーチャーの積極的・計画的な導入 →

読み聞かせ・パソコン・その他 学習支援ボランティアとの連携

- ・保護者アンケート・学校関係者評価の実施と成果の説明 → 学校改善に生かす
- ・家庭学習の啓発と奨励（家庭学習の手引きの作成・配布）
- ・宗岡四小シラバスの発行
- ・学校応援団の更なる連携と推進

（８）その他

- ・昨年度行われた大規模改修後の施設設備の継続的な維持と整備
- ・教職員事故防止の徹底・服務規律の遵守

〈キーワード〉

- ４月・５月は学級経営の基盤づくり
- 凡事徹底… “当たり前前”のことが当たり前前“にできること”がすばらしい
- カウンセリングマインドを生かした授業
 - ・努めてよく聞く・無視をしない・結論を急がない・あいづちを入れる
 - ・まなざしを向ける・肯定的な態度で接する など。
- 教師としてこうありたい
 - ・子どもに 「優しく」 美しい言葉遣い、美しい教育環境、質の高い教育活動
 - ・教職員相互に 「真摯に」 教えるプロとして、協働の姿勢と互いに高め合う風土
 - ・保護者・地域に 「誠実に」 ていねいな対応、信頼関係の確立
 - ・自身に 「厳しく」 教育公務員として、自己の健康管理、服務・勤務の厳正